



ちばりは ニュース

2018年2月 発行 第31号
千葉県千葉リハビリテーションセンター 広報誌



〒266-0005
千葉市緑区誉田町1-45-2
TEL 043-291-1831 FAX 043-291-1857
ホームページアドレス
<http://www.chiba-reha.jp/>

千葉県千葉リハビリテーションセンターの理念と基本方針

理念

「誰もが街で暮らすために」

Everybody will be in own town

- 私たちは障害児・者の自立と社会参加に向けて良質な医療と福祉を提供します -

基本方針

利用者の意思と個性を尊重し、専門職の協働による包括的リハビリテーションを実践します。

日々の研鑽により自らの人間性と専門性の向上を図り、安全で質の高いサービスを約束します。

地域の各機関との連携を図り支援し、また研究・開発や専門職育成に努めます。

千葉リハ海外研修 in シドニー

センターでは平成26年度から職員の海外研修を実施しています。3回目となった今回は、平成29年11月25日～12月2日にかけて、オーストラリア・シドニーへ8名の職員を派遣しました。

シドニーの基本情報



南半球なので
夏のクリスマスです

オーストラリア南東部・ニューサウスウェールズ州に位置し、都市圏人口500万人を超えるオセアニア最大の都市です。

医療制度

メディケアと呼ばれる税金によって運営される公的医療と、私的保険による医療が並立して提供されています。このほか、労災や自動車事故に対する補償も手厚く整備されています。

福祉制度

全国一律の障害福祉サービス制度が取られています。利用者は国から割り当てられた財源を元手に、提供されている様々なサービスを自分で組み合わせて受けることができます。

訪問した施設

1	Cerebral Palsy Alliance	脳性まひ者専門の福祉サービス
2	Children's Hospital at Westmead	小児科病院
3	Angricare aged care Castle Hills	高齢者施設
4	Liverpool Hospital Brain Injury Rehabilitation Unit	脳損傷リハビリの専門部門
5	Royal Rehabilitation Centre	総合リハビリセンター
6	Sargood on Collaroy	保養施設

(1)Cerebral Palsy Alliance



(2)Children's Hospital at Westmead



(6)Sargood on Collaroy



次ページで研修の様子をご紹介します！



海外研修の様子をご紹介します！



どんな場所でリハをやっているのか、どんな道具を使っているのか、全てが気になります。

自動車運転再開支援やガーデニングなど、千葉リハでも行っていることが見られました



見学先では通訳の方を介してディスカッションを行いました。

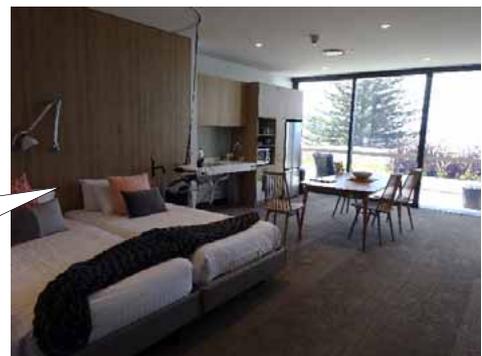


リハビリセンターでは、セラピードッグがお出迎え



スポーツを好む国民性で、訪問したどの施設にもジムがありました。壁面には障害者アスリートの写真がズラリ！！

脊髄損傷者の為の保養施設は全室オーシャンビューで完全バリアフリー。日中はサーフィンなどのアクティビティも楽しめます。公的な福祉サービスとして利用できます。



現地では、医療・福祉に係る様々な施設を訪問し、そのサービスについて見る事が出来ました。私達も少しでも多くの事を学んでいきたいと思い、事前に質問を準備した上で次々とお尋ねしていきましたが、見学先のスタッフの方は皆フレンドリーで、予定された時間を過ぎてでも対応して頂いたり、私達の希望に合わせて柔軟に見学先を変えてくれたりと、想像以上のおもてなしを受けました。

シドニーの皆さんは自分達が行っているサービスの良さをアピールすることが上手で、その姿には専門職としての誇りも感じました。また、対話を通して、考え方の違いや日本との共通点も知ることが出来て、現地でしか得ることのできない貴重な体験となりました。

当センター主催の地域におけるイベントのご報告

センターでは、地域の専門職・支援機関や住民の皆さんに向けて多くの行事を地域連携部を中心に実施しています。ここではその中の一部をご紹介します。

リハビリテーション出前授業

平成30年2月6日（火） 千葉市立弥生小学校

センターの理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が千葉市立弥生小学校を訪問し、5・6年生に向けた特別授業を行いました。この授業はセンターが実施している千葉県地域リハビリテーション支援体制整備推進事業の一環として、県内の地域リハ広域支援センターと一緒に取り組んでいます。授業を聞いた児童にとって将来、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などのリハビリテーションに関係する職業が選択肢の一つになればという思いで体験を交えた授業を行ってきました。児童たちは真剣な眼差しで聞き、積極的に手を挙げてくれたりと活発に取り組んでくれたので、逆にセンター職員の方が元気をもらったほどでした。

このような小学校への授業を今年度は県内11校で実施しています。今後も引き続き、誰もが街で暮らせる地域社会の実現を目的に、リハビリテーションの普及啓発に取り組んでいきます。



第14回高次脳機能障害リハビリテーション講習会

平成30年1月13日（土） 京葉銀行文化プラザ

二部構成で行われた講習会の前半は「高次脳機能障がい者と家族への心理支援～地域支援を中心に～」について、医療法人巖心会 栃内第二病院 臨床心理士 山館圭子先生にご講演いただきました。長年、当事者・家族の支援に携わってこられ、実際に地元岩手での活動の紹介も交えながら、当事者がどのように悩み、感じているかを理解し、家族や支援者はどのように支えていくかを共に考える機会となりました。後半の当事者による体験談では、「身体障害と高次脳機能障害を抱えて働くことを通して」をテーマに、ご自身の障害と経験、お気持ち、現在の勤務等についてお話いただき、時折笑いが起きるなど和やかな雰囲気で行われました。



センター職員監修のDVD教材が発売されました

センター職員の監修によるDVD教材「**小児の高次脳機能障害への支援シリーズ**」が1月25日に丸善出版より発売されました。小児期に発症した高次脳機能障害に特化した内容で、センターが行う個別支援から蓄積したノウハウをまとめた全5巻構成の映像教材です。



第11回千葉県地域リハビリテーションフォーラム（ご報告）

平成30年1月27日（土）千葉県教育会館において、「**これからの地域リハビリテーション**」をテーマに第11回千葉県地域リハビリテーションフォーラムを開催しました。前半は、埼玉県が地域包括ケアを構築するにあたり、どのように地域リハビリテーションを推進しているかについて、埼玉県福祉部障害者福祉推進課 鈴木淳子氏にご講演いただきました。この講演を受け、後半のシンポジウムでは、埼玉県と千葉県の実践について意見交換を行いました。また、ポスターセッションとして、県内各地の地域リハビリテーションへの取り組みが報告され、活発な討議が行われました。

当日発表されたポスターは下記ホームページで公開しております。
<https://goo.gl/A5AeJH>
 （右のQRコードからアクセス可能）



センター案内図



車のご利用

- ・千葉東金道路 大宮インターから約10分
- ・京葉道路 松ヶ丘インターから約25分

電車・路線バスのご利用

- ・JR外房線鎌取駅北口から千葉中央バスのりば2「千葉リハビリセンター」行 約9分
- ・JR千葉駅東口から千葉中央バスのりば2「千葉リハビリセンター」行 約40分（土曜・休日のみ）

無料送迎バスのご案内

平成26年8月1日改定

（センター JR 鎌取駅 循環運行）

JR 鎌取駅北口発 千葉リハビリテーションセンター行き 千葉リハビリテーションセンター発 JR 鎌取駅北口行き

時	平日	土曜日
8	10 30 50	10 30 50
9	10 30 50	10 30
10	10 30 50	20 40
11	10 30 50	00 20 40
12	10 30 50	40
13	10 30 50	
14	10 30 50	
15	10 30 50	
16	10 30 50	
17	10 40	

時	平日	土曜日
8	03 23 43	03 23 43
9	03 23 43	03 23
10	03 23 43	13 33 53
11	03 23 43	13 33
12	03 23 43	33
13	03 23 43	
14	03 23 43	
15	03 23 43	
16	03 23 43	
17	03 33	

センター送迎バス発着場所について
 鎌取駅発・・・鎌取駅北口ロータリー付近
 （専用のバス停はございません）
 センター発・・・センター正面玄関前
 車椅子ご利用の乗車定員について
 中型バス（黄色）・・・2名
 マイクロバス（水色）・・・3名
 日曜・休日は運休となります。
 道路混雑等により遅延する場合があります。